

令和3年(2021年)2月18日(木)
平和記念資料館学芸課 副館長：加藤
電話：241-4004 内線 5804
担当：落葉、植野

被爆75年企画展 広島平和記念資料館のあゆみ 第二部 8月6日へのまなざし—資料を守り伝え続ける を開催します

資料館が収蔵する資料は、当初、被爆直後に焼け跡から収集した瓦や石などが出発点でしたが、その後、被爆者や遺族の方々からの寄贈資料、被爆直後の惨状を記録した写真や映像、「市民が描いた原爆の絵」など多様なものを加え、数万点の規模になっています。

今回の企画展は、「広島平和記念資料館のあゆみ」第二部として、1970年代から現在に至る資料館のあゆみを伝えます。現在、資料館に収蔵されている資料はどのような経緯で収集・整理されたのか。また、どのような構想に基づき展示がリニューアルされてきたのか。さらに、資料に向き合った人々の姿も紹介しながら、資料を守り後世に伝え続ける大切さを伝えます。

1 展示期間

令和3年(2021年)2月27日(土)～令和3年(2021年)7月18日(日)

2 展示場所

広島平和記念資料館東館1階 企画展示室

3 展示内容

(1) 開館以来最初の常設展示更新

昭和50年(1975年)に初めて行われた常設展示の全面的な更新や展示資料の保存対策などについて伝えます。

(2) 新たな収蔵資料と展示の広がり

アメリカから収集した原爆被災写真や、被爆者自身が当時を思い起して描いた「市民が描いた原爆の絵」などについて伝えます。

(3) 広島平和記念館との一体化へ

戦時下の市民生活などの展示をしていた平和記念館の様子、平成6年(1994年)に平和記念館を改築した平和記念資料館東館の開館などについて伝えます。

(4) 一人ひとりの姿を伝える

資料の寄贈者や関係者に対する実態調査や、レプリカ作成などの保存の取組を紹介するとともに、平成29年(2017年)の東館、平成31年(2019年)の本館のリニューアルについて伝えます。

4 展示する資料

写真パネル、現物資料など約 200 点

＊主な資料

- ・最初の常設展示更新前に展示されていた衣服
- ・現在の本館で展示している「三人の中学生の遺品」関連資料
- ・似島から発掘された遺品
- ・昭和 50 年(1975 年)の資料館改装工事の基本計画平面図
- ・収蔵庫で使用されていた金属製の資料保存箱
- ・資料保存対策を講じた展示ケースの図面
- ・被爆した馬のはく製
- ・広島平和記念館の常設展示平面図
- ・第 1 回「市民の手で原爆の絵を」展で紹介された原爆の絵(複製)

5 入場料

無料